

第 33 期第 3 回枚方市社会教育委員会議「枚方市立図書館第 2 次グランドビジョン平成 25 年度進捗状況に対する意見整理表

運営基本方針	意見内容	対応方針	備考
<p>1. 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします</p>	<p>“1-1 図書館利用者層の拡大”において、実利用者が減少していることをどのように分析しているのか。</p>	<p>実利用者の減少については、以下のように分析しています。①携帯端末などの普及による読書離れは社会的な現象である。②ベストセラー本に頼らない蔵書構成について、新たな利用者層に対し周知を行っている途上である。③利用者拡大の取り組みにより、減少傾向は歩留まりしている。</p>	
	<p>実利用者が減少しているにも拘らず、進捗状況の評価欄を○（順調に進捗）と評価した整合性がわからない。なにをもって○なのか。内容的なことも大切だとは思いますが、利用者層の拡大を目標に掲げているのだから、もう少しきちんと評価をする必要があるのではないか。</p>	<p>各種行事や来館のきっかけ作りのコンサートの開催、あるいは幅広い層に向けた本の紹介等、市民に対し利用促進のための PR を行い、利用者の拡大に向けて取り組んでおり、平成 25 年度の進捗状況としては、一定の減少傾向の歩留まり効果、及び「平成 27 年度末までの取組内容」に記載している取り組みの実施状況に対して、順調に進捗している（○）という自己評価を行いました。</p>	
<p>3. 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします</p>	<p>「予約」と「リクエスト」の間にもう一段階あるのではないか。</p>	<p>「予約」は、図書館蔵書が貸出中の場合に、返却後にその蔵書の貸出を求めるもので、「リクエスト」とは、図書館が所蔵していない資料について、購入または市外の図書館から借り受けて提供するように求めるものです。 （3-1-②のサービス展開の方向の欄に注釈あり）</p>	
	<p>「カート式」という言葉がわかりにくいので、説明も加えたらどうか。</p>	<p>「カート式」とは、インターネットで予約する際、従来図書館では 1 冊ずつしか予約出来なかったものを、まとめて予約できるようにする方式のこと。 分かりやすい記述に加筆・修正します。</p>	

<p>4. だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします</p>	<p>市民意見の収集に努めるとあるが、実際にはどのような意見がどのくらいあったのか。あればそれを受けて、今後いろいろと検討されることを期待する。</p>	<p>ご意見箱には、61 件の意見があり、例えば図書館資料については“なかなか借りられない”とか“読みたい本がない”、というような意見をいただいています。また“自習室がほしい”“返却を駅でできるように”“土日午後7時まで”“分室の午前中開室”などのほか、職員の丁寧な対応に対するお礼のことばや、逆に職員の対応への苦情等がありました。</p> <p>「市民の声」では、資料の充実・開館時間の延長・返却ポストの増設等が寄せられています。</p> <p>いただいた意見に対しては、職員に周知し、対応が必要なものは随時対応するとともに、すぐに対応できないものについては検討を続けていきます。</p>	
	<p>宅配サービス実施のための課題整理を行い、条件整備を行ったとあるが、その方法がここでは抽象的でわからない。もう少し具体的に記載した方がよいのではないか。</p>	<p>他市で行っている宅配サービスの状況調査を行い、本市で行う場合の課題整理を行いました。結果的には郵便局のサービスを利用することになったため、事前調整も含めて条件整備を行ったところです。</p> <p>わかりやすく具体的に記載します。</p>	
<p>5. 効率的・効果的なサービス提供を行う図書館をめざします</p>	<p>『指定管理者制度』という言葉は、どうしてこのビジョンの中に突然出てきたのか。5ヶ年計画をベースにした、言わば図書館の評価としてのグランドビジョンの中に、検討したこともない言葉を載せると計画との整合性がとれないのではないか。実質ここで書けるのは、それを抜いた“運営の効率化を図り”というのが限界でないかと思う。</p>	<p>効率的・効果的な管理運営の構築の中で、生涯学習施設との複合施設について、指定管理者制度導入に向けての課題整理を行っています。</p> <p>ここでは 26 年度の取り組み予定ということで記載しましたが、第 2 次グランドビジョン上の表現に合わせて、「指定管理者制度導入」という表現を、計画との整合性を図れるよう修正します。</p>	